

切除不能進行胃癌がんに対する化学療法後の治療効果および 化学療法後手術の安全性に関する観察研究

1. 研究の対象

2018年1月から2025年12月までに大阪国際がんセンターにおいて切除不能進行胃癌と診断され、化学療法を受けられた患者さんを対象としています。これまでに化学療法を受けられた方（後ろ向き対象）および、今後化学療法を受けられる方（前向き対象）の両方を含みます。化学療法後に手術を施行した方だけでなく、手術に至らなかった方も解析対象に含まれます。

2. 研究の概要

研究期間：総長の研究実施許可日～2030年12月31日

研究目的：切除不能進行胃癌に対する化学療法後の治療効果や、腫瘍縮小などにより手術が可能となった方における手術（コンバージョン手術）の安全性・有効性を明らかにすることを目的とします。

研究方法：本研究は、大阪国際がんセンターにおける後ろ向きおよび前向きの観察研究です。診療録、検査結果、画像データなどの既存の診療情報を用いて解析を行い、一部は今後の診療経過を前向きに追跡します。評価項目は、化学療法の治療効果（奏効率など）、手術実施の有無、手術成績、術後合併症、術後経過、長期予後などです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

使用する情報：年齢、性別、病理診断、治療内容（化学療法・手術）、検査結果、画像診断、合併症、予後情報など

試料：新たに生体試料を採取せず、既存の診療情報のみを使用します。

これらの情報は、氏名・生年月日・カルテ番号などの個人を特定できる情報を削除し、研究用の識別番号を付けて管理します（連結可能匿名化）。

外部への情報提供は行わず、個人を特定できる情報が外部に出ることはありません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 消化器外科 牛丸 裕貴

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究責任者：消化器外科 牛丸 裕貴

-----以上